

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	その他サービス [葬祭業]（経営者）	お客様の様子	・今月は墓じまいの依頼が週2件のペースで入っている。その全てが女性客からの依頼である。
	○	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・観光ではないが、外出する人が増えている。
	○	コンビニ（経営者）	単価の動き	・来月のたばこの値上げに伴い、9月に限れば客単価は上がっている。
	○	高級レストラン（経営者）	単価の動き	・新型コロナウイルスのワクチン接種も進み、新規感染者も少なくなり会食も戻りつつある。各種クーポン券の効果で、消費意欲も戻り始めている。
	○	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・宿泊業は新型コロナウイルス禍で、週単位で状況が変わってしまうので、3か月前と比較しても余り意味がない。3か月前は緊急事態宣言による強いブレーキがかかっていた。その後、東京オリンピックがあって、現在も緊急事態宣言下ではあるが、以前よりも意識的には緩くなっており、ワクチン接種が終わった一部の方が動いているようである。ただし、全体としては動きは少なく、改善はみられるものの、売上の的には例年の半分以下である。
	○	観光名所（職員）	来客数の動き	・今月は週末ごとに観光客が戻ってきている。特に、大型連休中は混雑するほどのにぎわいをみせている。
	○	遊園地（職員）	来客数の動き	・前年秋は、来客数が新型コロナウイルス流行以前に向けて回復傾向となっていたが、今年はキャンペーン等の実施がない上に、近隣都県の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出により、来客数の落ち込みが顕著である。
	○	ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・政府の適切な経済対策により、新型コロナウイルスの影響を大きく受けることなく経営を続けており、感謝している。
	○	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・別荘購入に前向きな客が多い。
	□	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスはスポーツ店には関係ないと思っていたが、これほどまでに関係するとは思ってもみなかった。
	□	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスのワクチン接種済みの方の増加か、自粛疲れなのか、今月の連休は県外からの観光客を多く見かけ、駅前のホテルの利用客も増えている。ただし、地元の人には感染に対し敏感で、夜になると人出が全くなっている。
	□	一般小売店[家電]（経営者）	お客様の様子	・商材の動きはすこぶる悪い。新型コロナウイルス禍の生活に慣れたためか、お金を抱え込んでいるのか、消費意欲が見えてこない。
	□	一般小売店[薬]（経営者）	来客数の動き	・来店客は相変わらず少なく、また、固定客の来店が多い。
	□	スーパー（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大第5波の影響で、前年同月に比べて巣籠り消費傾向が強い。
	□	スーパー（経営者）	来客数の動き	・売上、来客数共に前年比7%減である。新型コロナウイルスのワクチン接種も進み、少しずつイベントが再開されてきているので、これから人の動きが増えてくれると有り難い。
	□	スーパー（店長）	来客数の動き	・客単価は微増となっている。
	□	スーパー（副店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大第5波も落ち着きつつあるが、今後の見通しのつかない状況が続いている。ワクチン接種も進んではいるが、接種をしても感染の可能性がある、精神的に常にどこか心配しているようになっている。
	□	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数がやや前年を割っており、たばこの値上げの影響で客単価は若干上がっている。来客数が落ちているのが気になる。
	□	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス禍で、ここ1年半ほど何ら変わりはない。

□	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスが収束しない限り、駄目である。
□	家電量販店(店 長)	来客数の動き	・前年の8割程度の集客状況が続いている。
□	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・車検や一般整備部門は、右肩上がりとはいえものの、目標どおりの水準となっている。車両販売は、相変わらず厳しい状況が続いている。いろいろな客の話を聞くと、新型コロナウイルス禍での生活が長引くほど、生活の格差的なものを感じる。
□	自動車備品販売 店(従業員)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響だけではなく、新車の減産等の影響で、来客数はなかなか伸びてこない。
□	一般レストラン (経営者)	販売量の動き	・客の動きは若干増えたが、ばらつきが極端で来客ゼロの日が目立ち、前週などは2日間も来客がゼロであった。今までは月の売上こそ少なくとも、来客ゼロの日は数えるほどしかなかった。
□	スナック(経営 者)	来客数の動き	・時短要請が解除になっても人の出足は変わらない。補助金をもらえない分だけ厳しい。新型コロナウイルスの感染者も減ってきたので、少しずつ上向いていくのではないか。余り時間が掛かると会社が持たないかもしれない。コロナが入ってきたばかりの頃に、公庫で貸してもらった融資で食いつないでいるだけだが、その返済も厳しい。経済が元に戻ればきちんと返せるが、1年くらいで元に戻ってくれないと駄目かもしれない。
□	都市型ホテル (支配人)	販売量の動き	・月別の売上は前年と比べてほぼ同じであり、宿泊料金は前年と同額に設定しているため、全て横ばいで変わらない。
□	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・県独自の時短要請等により、月半ばまでは前月同様、悪いまま来客数が落ち込んでいた。月の途中から時短要請解除となったが、大幅な反動はなく、来客数は若干の増加傾向にあるものの、良くなっているとは言い難い。
□	旅行代理店(副 支店長)	お客様の様子	・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置発出のなか、県をまたぐ往來の自粛が長引いており、需要は減少するばかりである。また、自治体独自の支援策も、前年実施した支援策と同等であり、消費者もマンネリ化と受け取っているため、実施効果が見られない。結局、新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、9月の連休もキャンセルが相次ぎ、景気に動きはみられない。
□	通信会社(経営 者)	お客様の様子	・高齢者世帯の保留や解約が増えつつある。
□	通信会社(社 員)	販売量の動き	・集客アップを見込んだイベントが開催できず、メディア媒体でのPRのみなので、苦戦している。
□	設計事務所(経 営者)	来客数の動き	・小規模の物件依頼はあるが、大規模物件数が少なくなっている。
▲	商店街(代表 者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる制限が解除されたからといって、すぐに来客が増えるわけではない。回復を感じさせるような動きは全くない。
▲	コンビニ(エリ ア担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響からか、金回りが厳しい。
▲	コンビニ(店 長)	販売量の動き	・天候の関係だと思うが、今月は一時的に気温が上がったものの、大分低く変動してきたため、売上が今一つ安定せず、余り良くない。
×	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・半導体等の部品供給不足により、新車の生産が滞っていて納期が読めない。結果として、売上減少と受注の伸び悩みにつながっている。
×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・人は動いているようだが、飲食の消費に直結しているとは思えない。
×	スナック(経営 者)	来客数の動き	・来客数の動きと回答したが、選択肢の全てに当てはまるような気がする。とにかく、この新型コロナウイルスには参っている。何か良い選択はないか。
×	都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・9月の販売量、売上は、今年度4～9月のなかで最も悪く、3か月前と比べても落ち込んでいる。
×	タクシー運転手	販売量の動き	・9月は前年比85%、前年の令和2年は前年比78%で、今年と一昨年(令和元年)を比べると67%と、年々悪くなっている感じである。

	×	その他レジャー施設 [ボウリング場] (経営者)	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の対象地域になり、9月上旬は非常に厳しい。中旬に解除されたが、すぐに客足が戻るわけではなく、厳しい状況に変わりはない。新型コロナウイルスの感染者数が減少傾向にあるので、このまま減っていけば客足も少しは戻ってくると期待できる。
企業動向関連	◎	*	*	*
(甲信越)	○	建設業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・公共工事は低調であるが、民間工事は問合せが増えてきているように感じる。
	□	食料品製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・売上は前年同月比100%を達成したが、本調子ではない。
	□	窯業・土石製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス禍の影響は依然として続いており、受注、販売量共に低迷している。
	□	金融業 (調査担当)	取引先の様子	・製造業の改善が維持される一方、非製造業では観光関連を中心に、厳しい状況が続いている。
	□	金融業 (経営企画担当)	取引先の様子	・現状、特に明るい展望は開けていない。
	▲	食料品製造業 (製造担当)	取引先の様子	・スーパーでの販売点数が日に日に落ち込んできている。
	▲	電気機械器具製造業 (経営者)	取引先の様子	・取引先からの受注量や見積案件数共に減っている。電子部品の入荷も悪い。
	▲	新聞販売店 [広告] (総務担当)	取引先の様子	・緊急事態宣言等により、旅行、飲食、イベント関連会社では少しずつ持ち直してきていたものが再びストップしてしまい、正直厳しいという話が多い。また、半導体不足により、機器販売会社では受注しても納期のめどが立たないので、売りたいくても売れない状況だという話も聞いている。
	×	食料品製造業 (営業統括)	受注量や販売量の動き	・首都圏の緊急事態宣言発出の影響により、一般酒販店及び業務用の出荷が激減している。また、工場見学者も大幅に落ち込んで、苦境に立たされている。
	×	その他製造業 [宝石・貴金属] (経営者)	受注量や販売量の動き	・秋冬商戦の品ぞろえのため、全国からの来場が期待されていた大型宝飾展示会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、開催県の要請により急きょ延期となった。これを弾みに景気回復を期待していた卸業者にとって、落胆は大きい。緊急事態宣言下ではあるが、既に企画されていた宝飾催事は予定どおり開催されている。しかし、来場者数、売上は、新型コロナウイルス禍の前年から更に2～3割ダウンしている。デパート、小売店共に、客の来店が伸びないため、商材仕入れはストップしている。時短営業や休業日の増加、雇用調整をしながら、何とか経営を維持しているのが現状である。
雇用関連	◎	—	—	—
(甲信越)	○	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・新型コロナウイルスワクチン接種の進行や当県でのまん延防止等重点措置の解除効果か、宿泊業や飲食業からの求人が増加傾向にある。
	□	人材派遣会社 (営業担当)	周辺企業の様子	・飲食店や衣料品店等の閉鎖が続いており、相談者や登録者に偏りがある。新型コロナウイルス対策の短期的な業務があり、時給単価が良いため、そちらに人が流れている。ただし、年末や年度末にその業務も終了予定なので、その後が心配である。
	□	求人情報誌製作会社 (経営者)	求人数の動き	・9月下旬になって、製造業を含め多業種で求人募集広告掲載企業が増えている。現在は新型コロナウイルス新規感染者数が減少傾向にあるが、今後の求人数増減の先行きは不透明である。
	□	民間職業紹介機関 (経営者)	求人数の動き	・求人数は増加傾向だが、契約社員やパート等を優先し、正社員採用には慎重な姿勢が目立っており、積極的な採用には至っていない。
	▲	—	—	—
	×	—	—	—